

とんがり通信

手作りのパンの



おすそわけです♪



No.244



～主な内容～

- 施設長コラム • 退職者のお知らせ
- 活動報告（ファンタジーナイト・節分イベントほか）
- 奈津子さんのたまに行くならこんなトコ
- Close-up! • 職員コラム ほか

仙台つどいの家編集室
発行責任者 山口 収
発行日 2020年3月25日
〒983-0836 仙台市宮城野区幸町3丁目12-16
Tel 022(293)3751 Fax 022(293)3752
E-mail sendai@tsudoinoie.or.jp
ホームページ <http://www.tsudoinoie.or.jp>



故きを温ね 新しきを知る の巻

今年もまた、3月11日がやってきました。あの震災から9年が経過し、世の中は何事もなかったかのように平静を取り戻しているように見えますが、一步海岸線に目を向けてみると、復旧すらままならない地域があったり、一見復興したように見える場所にも故郷の海が全く見えないような高い堤防が張り巡らされたりしています。とりわけ世間から取り残されているように感じるのは福島状況です。先日『常磐線が9年ぶりに全線復旧』というニュースが華々しく報じられました。その裏では国策として推し進めてられてきた原子力政策によっていまだに暮らした故郷に帰れずに避難生活を余儀なくされている方たちが大勢いるのです。先が見えず、日々を大きな不安の中で暮らさざるを得ないこれらの方たちのことを抜きにして、震災からの復興を語ることはできません。国は福島第一原子力発電所の廃炉作業が完了する見通しを『21～31年後』としていますが、当初のスケジュールから大きく遅れている現状を考えると、この時期も後々修正される公算が大きいです。この間、停止中の原発の再稼働に向けた動きがここ宮城県でも強硬に進められている事実もあります。9年前に起こったこと、そしてこれから日々起こっていくことを事実として注視し、風化させることなく次の世代に語り継いでいくことが私たちには求められているのではないのでしょうか。

さて、私たち社会福祉法人つどいの家は、昭和50年にその前身となる『仙台市重症心身障害児(者)を守る会』を発足させました。当時は重いしょうがいのある人たちは『就学猶予』『就学免除』という教育施策のもとに義務教育からも取り残されていました。守る会では在宅で過ごさざるを得なかった重いしょうがいのある人たちが集える場所の設置を、仙台市当局に繰り返し陳情しました。同時に、養護学校に入学できなかった過年齢のために高教組の障害児学校部とともに日曜学校を開催したり、『母と子の写真展』や『手作り品バザー』を市中心部で開催するなどの活動も精力的に行ってきました。こうした地道な活動を積み重ねて昭和57年、仙台市が新たに設置した障害児通園施設の一部を間借りする形で、自主運営の小さな小さな『つどいの家』が誕生しました。念願の通所施設はできたものの、助成金もなく職員を雇うこともできません。手弁当での活動を続けながら再び写真展やバザーを開催し、活動の記録を発行して、ようやく仙台市からの助成金を得ることができました。しかし、とても職員一人分の人件費には足りません。宮城県や仙台市に陳情を続け、ようやく専任の職員を雇用できたのは昭和59年のことでした。

そのころ、同じように重いしょうがいのため、既存の施設に通えない方たちが市内に数多くいらっしやいました。市内各所につどいの家を設置したい、そのために安定的に運営できる社会福祉法人格を取得したいという新たな目標が生まれます。平成元年に同じ心身障害者通所援護事業施設の『八木山つどいの家』を、そして平成3年に『若林つどいの家』を開所します。その間も市当局への要望活動を続けながら、法人設立に向けた資金作りを進めていきます。様々な活動を経て、ついに社会福祉法人格を取得したのが平成4年のことでした。そうして翌年、泉区南光台の地に法人一つ目の通所更生施設『仙台つどいの家』を開所することができたのでした。その後も仙台市内のしょうがいのある方たちのニーズに寄り添うため、通所施設・レスパイト事業・相談支援事業・ヘルパー派遣事業・グループホームなどの資源を次々と生み出してきました。実に45年の歳月です。その間、これらの運動や資源づくりを幾多の苦難に怯むことなく先頭に立って引っ張ってきたのが、前理事長の下郡山徹一さんと現理事長の下郡山和子さんです。これらの運動に欠かせない考え方は『仲間づくり』と『社会化・一般化していく』という理念でした。一人ひとりの小さな声を、仲間を増やし理解者を増やしていくことで大きなうねりにしていく。他人ごとではなく自分ごとにしていく。この理念こそが、つどいの家の原点といえるもののように感じます。

この春、下郡山和子理事長が勇退されます。つどいの家の歴史のみならず、仙台市のしょうがい福祉にとって大きな存在であった理事長の勇退に、率直に大きな不安を抱えています。しかし、新理事長のもと、これまでのつどいの家の歴史と理念を大切にしながら法人の運営にあたっていく必要があります。何よりも、法人が希求してきた利用者さん・ご家族の皆さんの豊かな日常のために、職員一丸となって取り組んでいくことが、法人を作り育ててきた『想い』に応えることだと思うのです。

(管理者 山口 収)

☆イルミネーション in みどりの杜☆

2月7日にもみじグループの永坂葵さんと山中双美子さんとみどりの杜（仙台農業園芸センター）で開催された“ファンタジーナイト”に行ってきました。まずは荒井駅近くにある“AWESOME Cafe”で腹ごしらえ！お二人ともナスとトマトのキーマカレーを美味しく食べていました。そして、いよいよイルミネーション観覧。様々な色の恐竜や



天使の形をしたイルミネーションがあり、お二人とも目を大きく開けて見入っていました。葵さんは視覚に障がいがあり、左目が辛うじて光を感じられる程度の視力しかありません。しかし、イルミネーションの光がしっかりと分かっているようで、光の方をじっと見つめていました。特にピンク色が好きな様子で、近くに行くとずっとニコニコした表情をしていました。山中さんも目をパッチリ開けて一つひとつのイルミネーションに興味津々な様子で見っていました。夜間といういつもと違う雰囲気・リズムでの活動でしたが、お二人とも良い表情を見せてくれて、私たちも楽しむことが出来ました。これからも色々な楽しい経験を一緒に積み重ねていきましょう♪（記：今川）



イオン幸町店との地域合同企画 『お買い物もの♪ お買い物もの♪』



今年もイオン幸町店さんから電話がありました。「いつもどおり幸町の地域交流として、イオン幸町店の社員と合同レクリエーションをしませんか？」というお話でした。なんと6年連続のお話です。さ～て今年は何様なレクリエーションしようか??話し合いの結果、「つどいの家の中をイオンに見立てて、買い物競争をしながら福笑いの要領で恵方巻を作る」ということに決定！当日は、2つのチームに分かれて運動会のようなものでした。

イオンの社員さんも利用者さんと一緒に四苦八苦しなながら、大きな声で笑ったり、中には関係ないものまで買い物をして盛り上がっていました。鬼に変装（笑）した職員が、出来上がった恵方巻を食べにホールへ登場！「鬼は～外！福は～内」利用者さんはここぞとばかりに力を込めて豆をぶつけます。豆を当てられた鬼はリアルに「痛い、これはまじめに痛い！」と涙が出たとか出ないとか・・・。

今回もイオン幸町店のみなさまには大変お世話になり、有難うございました。最高の地域交流となりました。また一緒に合同イベントをしたいと思います。

そして、毎月11日に開催していただいているイエローシートキャンペーンでは、イオンへ買い物に来ている多くのみなさまにたくさんのレシートを頂戴しまして、本当に有難うございます。この場を借りて厚く御礼申し上げます。（記：有住）



奈津子さんの

たまに行くならこんなトコ

去年のとんがらし通信でもお伝えしていましたが、さんしょグループの早川奈津子さんは食べることが大好きで、外食レポートを4年間作成してきました。その中でも『☆の数』が多かった、奈津子さんおススメ!の『たまに行くならこんなトコ』第2弾をご紹介します。

まず、八幡町にあるイタリアン「Di VERDE (ディベルデ)」です。お店でも大人気の日高見牛のソテー(1,200円)とフォカッチャ(398円)を頂きました。1口食べるごとに『美味しい!』と手を挙げ、パクパク食べていました。日高見牛は、脂身が少なくあっさりして深い味わいでした。お店は、平日でも混んでいましたが、事前に電話で予約をしていたので、席もゆったり広く使うことができ、店員さんの接客もとても良かったです。

2つ目は、泉中央にあるセルバテラスの「ハミングバード」です。店内は広くて車椅子も入りやすく、居心地もとても良かったです。前菜の盛り合わせ(1,502円)を注文。色々な物を少しずつ食べたい奈津子さんには、ちょうどよい量で、1口目から手が挙がり、オリーブの実以外全て手が挙がっていました。これからも奈津子さんのグルメレポートを時々ご紹介しますね!

(記：山添)

選んで出かけよう!

今年度、けやきグループの岩佐美奈さんは「自分で選んで外出がしたい。」という目標を立てました。そして今回は美奈さんの大好きな『バス』か『電車』の2択から移動手段を選んでもらい、街ブラをすることにしました。用意した2枚の写真カードをじっくり見て「ん〜バス。」「やっぱり電車。」「電車にする!」と選び、行程表に貼り付けるとすぐに出発です。陸前原ノ町駅に着くと足早にホームに降りていきます。アナウンスが聞こえるたびに「誰が言っているの?」「運転手さん!」「何番ホーム?」と満面の笑みで話す美奈さん。車内でも「次はどこどこ?うふふ。」とうれしそう。仙台駅に着いてすぐにハンバーガーが食べたい美奈さんと大きなハンバーガーをお腹いっぱい食べました。その後は、CDショップでクラシック曲を探したりやディズニーストアでスクリーンに出てくるプリンセスを観たり、カフェでケーキを食べたり、本屋さんでアナ雪の本を読んだり。軽やかな足取りで街中を駆け巡りました。帰りも「電車に乗りたい!」「誰と乗るの?」「次の駅は?」と、生き活きた表情で電車に乗って帰ってきました。

行きたいお店や食べたい物、誰と行くか、なにで行くか、いつ休憩するか、右に曲がるか左に曲がるか…。美奈さんと外出して改めて、『人生は選択の連続だ!』と思いました。これからも美奈さんのお出かけが、美奈さんらしいものになるように。遠慮なく職員の手を引いて連れて行ってくださいね。(記：安藤)



やまかぜのベンチ におじゃましました



2月20日、接客のステップアップを目指して、めいぶるの佐藤咲子さんが八木山つどいの家喫茶「やまかぜのベンチ」に実習に行きました。当日は朝から落ち着かない様子で緊張気味の咲子さん。八木山に着いてすぐに歯磨きをして気分を落ち着かせようとしていました。初めての経験にドキドキの咲子さんの体験談です。 (記：鈴木)



仙台つどいの家での活動を1日離れて八木山でも活動してみよう、というワケで今回初めて「1日体験実習」に参加しました。1番楽しかったのは、「やまかぜのベンチ」での接客のしかたの練習。初めはとても難しくてよくわからなかったけれど、喫茶の担当職員のかたに教えていただいたので、少しずつ慣れてきました。「めいぶる」での接客仕事とは、ずいぶん違かったんだと分かりました。お客さんが1人も来なかったけれど、この「接客レッシュ」は、とても楽しかったです。「閉店の後片付け」もしました。お昼には喫茶メニューの「ほろほろカレー」を食べました。

教えて下さった職員や利用者みなさん、実習に参加できてとてもうれしかったです。又、実習に来ようと思います。 (記：佐藤咲子)



のぞ散歩

in 山寺



2月下旬、けやきグループの工藤望さんが仙山線を使って山寺まで行ってきました！山寺といえば、奥の院まで続く1000段もの階段。

けやきグループで一番歩くのが好きで体力のある望さんでも登り切れるか心配でした……。しか〜し。当日は快晴。山の上なので空気が澄んでいて歩くにはもってこいの絶好のお散歩日和。大好きなコーヒーを購入していざレッツゴー！

道中にあるお地蔵さんの大群や風情を感じさせるお寺を見ながら歩きます。同行している職員が置いてかれそうになるくらい歩くのが早く……。あっという間に1000段登り切りました。山頂から見る雪景色はとっても綺麗！望さんも高台から見る景色を見て「登り切ったぞ！」というような満足気な表情でした。

下山後は山形の美味しい芋煮やおそばに舌鼓。雄大な自然を感じて、美味しいグルメを満喫して、満足気な表情で仙台に帰りました。また行きたいぞ！山形！

(記：松原)





Close-Up!

阿部元就（あべもとなり）さん

そんなわけで、始まりました、とん通の大人気コーナーClose-up!! 今回も利用者さんの様々な側面を拡大縮小回転歪曲、最新のAI技術(?)を駆使して、丸裸にしていきたいと思います! そして、な、な、なんと今回ご紹介する利用者さんは、くるみグループのエース、「音速の貴公子」こと阿部元就さんです! 「毛利元就」から付けられた名前通り、武将のようなワイルドな風貌で全人類を魅了します!!

突然ですが、「元就さんの三本の矢(毛利元就にちなんで)」を發表します!! 一本目の矢は。ドゥルドゥルドゥル(ドラムロール)、ジャジャン!! 「歩くこと」です。元就さんは、時間さえあればどこまでも歩いていきますが、今年度も仙台つどいの家のある幸町から八木山や利府まで歩いていっています。しかしまだまだ歩き足りなかったようで、指を遠くに差して、もっと遠くまで歩きたそうにしています!! アンビリバーボー!!

続きまして二本目の矢は。ドゥルドゥルドゥル、ババン!! 「食べること」です! 元就さんは特に、たい焼きやお団子などの甘いものや豚カツや天ぷらなどの揚げ物が大好きで、仙台駅前に行くとき必ずお気に入りのたい焼き屋さんに走って行きます。しかし、最近では体重が気になって控え目にしか食べられないようですけれどもね…! 残念!!

そして、最後の三本目の矢は。ドゥルドゥルドゥル、ビョビョン!! 「暗い所」です! 施設内の「スヌーズレン」や、お家のお風呂の中を暗くして静かに過ごすことが好きで、鏡を見て自分の顔を見たり、横になって物思いにふけったり、リラックスして過ごしています!!

というわけで、これらの三本の矢が合わされば、決して折れることのない完全無欠の阿部元就さんが完成します!! 皆様ぜひそんな最強武将「阿部元就」さんに会いに来てくださいね~!! (高根)



職員コラム!

けやきグループ 竹浦菜月さん

昨年5月、令和に移り変わると共に入職しました竹浦菜月です。夫の転勤と共に仙台に引っ越してきて約2年になります。今回、職員コラムを…とのお話を頂き、何を書こうかと悩みましたが、私が最近好んで飲んでいるお酒のことを書こうと思います!

私は以前からお酒(特に日本酒)が好きで、国税庁が掲載している酒造(清酒)マップを使用し、酒造巡りをしていました。そうして出会ったお酒が、福島県会津美里町に蔵を置く「末廣酒造」さんです。「末廣酒造」さんでは直接蔵見学をさせて頂き、日本酒の製造工程を見てきました。純米吟醸酒等が造られる過程は滅多に拝見出来るものではなかったもので、とても興味深かったです。

末廣酒造さんでは「純米大吟醸 亀の尾」が有名ですが、私が好んで飲むお酒は熟成酒で、いわゆる古酒と呼ばれる日本酒を寝かせたお酒です。甘口から辛口まで全て頂いてみましたが、私は爽やかな酸味と程よく熟成香がある辛口が好みでした。お酒が苦手な方でも、甘口ならトロっとした口当たりと甘みがある味をデザートと一緒に味わっていただくのがおすすめです(*^-^*)

今後も程々に大好きなお酒を楽しんでいくので、是非おすすめのお酒がありましたら教えてください♪



退職職員紹介

めいぷる支援員
さとう えり
佐藤 絵理

5年間、ボランティア時代を含めると6年間つどいにお世話になりました。楽しい事も大変な事も沢山経験させて頂き、成長できた六年間でした。ありがとうございました！



もみじ支援員
えんどう くにこ
遠藤 都子

仙台つどいの家のみなさんが私の先生でした。色々な事を学ばせて貰いました。素敵な皆さんとめぐり逢えて本当に良かったです。お世話になりました！



「介護職員初任者研修」やっています！

2019年度つどいの家では法人内外の方を対象とした『介護職員初任者研修』講座（旧ヘルパー2級資格）を開設し、年度内で3期（1期10名程度募集）開講しました。

介護人材の不足が叫ばれて久しいですが、近年、国家資格である介護福祉士の養成カリキュラムが変更されました。

その目的は「介護の質の向上に向けた取り組み」であり、「福祉の専門職として介護職のグループの中で中核的な役割を果たし、変化していく介護ニーズの複雑化・多様化・高度化等に対応できる介護福祉士を養成することを目的とする」とされ、人材不足であるからこそ正しく効果的に人材を育成するというねらいが示されています。

要は介護の人材育成においては規制緩和はしない！より厳しく行くぜ！ということです（一方で一般的な人材確保策・イメージも示されています👉）。

今後、広く介護分野へ参入してくる人材を上記のような養成カリキュラムを経た人材が適正に指導育成を行っていくことで介護人材のキャリアパスを明確化していこうという気運が高まっています。

つどいの家でも、介護人材のすそ野を広げるため、この分野で中核的役割を果たす人材育成に繋げるため、ひいては利用者さんの利益のため（←これが到達目標）に社会的な役割を担う一つの方法として本講座の開講に至りました。

破格の受講料とアットホームな雰囲気、法人内スタッフであれば勤務内での受講が可能などメリット満載！講師陣が法人内スタッフであるため、よりつどいの家らしさの出た「介護職員初任者研修」となりました。受講下さった皆さん、どうもありがとうございました。

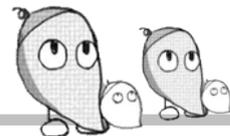
以降の講座について、ご興味おありの方は以下ご参照ください↓

（記：堀内）

仙台つどいの家 022-293-3751（担当：早坂）

つどいの家 初任者研修





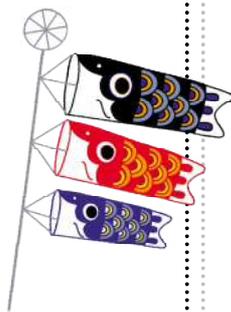
スケジュール schedule

4月

- 1日 (水) 辞令交付 (休館日)
- 3日 (金) ケース会議 13:30 降所
- 9日 (木) 事業所見学会
- 16日 (木) 保護者会新旧役員会
- 17日 (金) 施設懇談会
- 20日 (月) ケース会議 13:30 降所
- 24日 (金) 職員会議
- 25日 (土) 法人就職説明会
- 28日 (火) 後援会総会
- 29日 (水) 昭和の日 (休館日)

5月

- 3日 (日) 憲法記念日 (休館日)
- 4日 (月) みどりの日 (休館日)
- 5日 (火) こどもの日 (休館日)
- 6日 (水) 振替休日 (休館日)
- 7日 (木) ケース会議 13:30 降所
- 12日 (火) ふれあいセール
- 18日 (月) 施設懇談会
- 20日 (水) ケース会議 13:30 降所
- 22日 (金) 職員会議
- 28日 (木) 地域貢献企画①



ご協力ありがとうございます ボランティアとして協力して頂いた皆様

(1月13日～3月8日まで)

工藤さん、吉田さん、シルビアさん、京子さん

見学・来訪者など

角田拓也さん、実習(瀬上さん、母) 小松島支援学校松本さん、TAGOMARU 村上さん、すいせん保育所(鳥居さん)、3DAYインターシップ(橘川怜奈さん、石田いろはさん)、千葉さん(職場見学)、幸泉学園(三浦さん)、高橋大勝さん(ボラ希望)、初任者研修、ヤクルト、今庄青果、鈴木米穀、マルイ、マルキ水産、サトー商会、エニシフルコンサルティング、ハート総合自動車、仙台大気堂(小野さん)、ダスキン、ホシザキ東北、日本テクノ(春藤さん) 須藤さん、ジェーシーアイ、日本衛生協会、(株)池田メディカル、日進設備(2名)、東北電力、法人職員:佐吉、佐藤里、飯田、渡部、加藤、檜山、小沢、今野ほか

(以上、ご芳方順不同)

缶回収

12月～3月の納品額

合計 4,795 円でした。

ご協力有難うございました。



編集後記

皆さんは最近 SNS で毎日更新されている「100日後に死ぬワニ」という4コマ漫画をご存じですか？

主人公のワニくんと仲間達の何気ない日常を描いていますが、題名の通り100日後必ず死んでしまいます。死んでしまうのに来年公開の映画を楽しみにしていたり、夢があったり、好きな女の子に告白出来なかったり…。この漫画を読んで、人には必ず「死」が訪れるということを意識させられます。特に重い障害を持つ方は身体が強くないし、もしかしたら普通より短い命かもしれない。なので、一人ひとりの人生に後悔のないようにつどいの利用者さんには好きなことを沢山してもらいたいと思います。

自分自身もいつ「死」が訪れるか分からないので、好きな事に全力で生きていきます！(記:松原)



いつもつどいの家を応援いただき ありがとうございます！

みやぎ生協南光台店 様

リックス工業(株)
仙台営業所 様

マルキ水産 様

ダイシン幸町店 様

ジュリエットラブケーキ 様

フラワー 花太郎 様

一茶 様

和座 様

クルールフラン 様

NPO 法人しょうがい福
社ネット仙台 様

グリーンマート桂 様

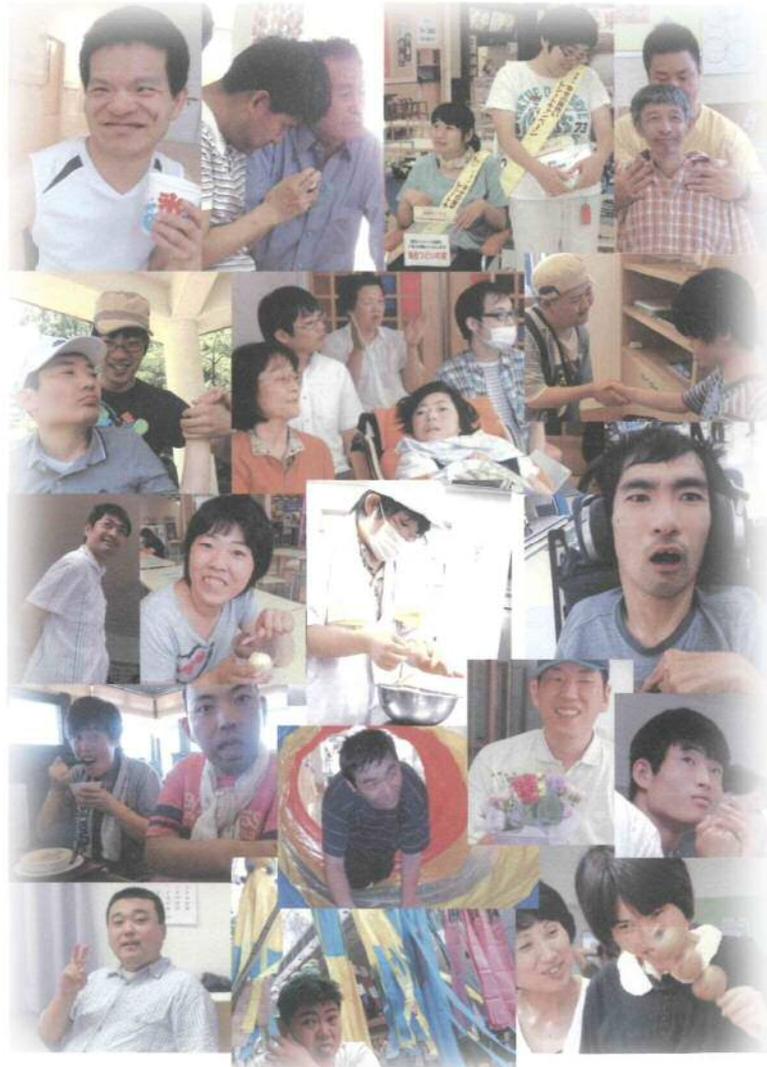
いとうや 様

ダイシン松森店 様

鈴木米穀 様

コメット調剤薬局 様

カフェくりり 様



小料理 前浜 様

東京いか焼き本舗 様

カフェクラフト 様

伊藤豆店 様

東京屋 様

美容室『NAGOMI』 様

熊野餅店 様

ドゥーブルマロン 様

酒のかわしま 様

おしゃれサロンノーブル 様

大国・はなれ 様

ニコカフェ 様

豊園 様

えくぼや 様

室内科小児科 様

韓国居酒屋タイフーン 様

自然食品なごみ 様

ヘアサロンAir 様

餅処エンドー 様

みやこがね本舗 様

目黒製餡所 様

美容室オアシス 様

味亭 様

もりのとびら 様

シェノワースプラン 様

もりのとびら 様

今庄青果 様

のだや 様

白鳥餅店 様

仙台つどいの家では後援会活動の一環として、近隣を中心に各企業・店舗さんにご協力をいただき、募金箱を設置しています。現在設置されている場所は、ご覧の企業・店舗さんです。『つどいの家後援会』の募金箱を見かけましたら、ご協力をお願いいたします。また、後援会に新規入会いただける方（年会費3,000円）、新たに募金箱を設置させていただける店舗さんなども随時募集しています。ご協力いただける方は仙台つどいの家022-293-3751（山口）までご連絡ください。